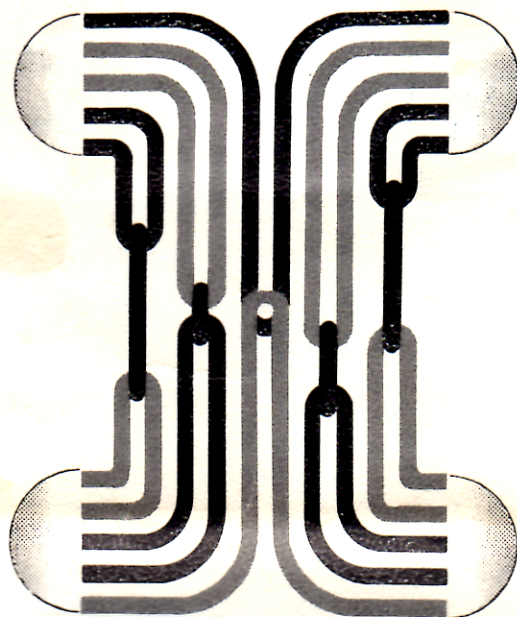


35th

西日本医科学学生総合体育大会ヨット部門



TOKAI'83

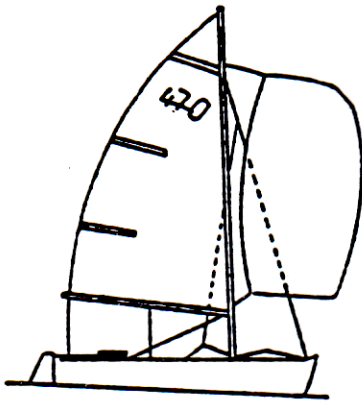
1983. 8. 24(水)~26(金)

浜名湖 ヤマハマリーナ浜名湖

主 催 / 西日本医科学学生体育連盟

後 援 / 浜松市ヨット協会

主 管 / 浜松医科大学ヨット部



470
 全長 4.70m
 巾 1.68m
 帆面積 12.7㎡
 乗員 2名



SNIPE (スナイプ)
 全長 4.72m
 巾 1.52m
 帆面積 9.95㎡
 乗員 2名

目

次

大会役員..... 1
 競技役員..... 1
 協力団体..... 1
 式次第..... 2
 会議日程..... 2

競技日程..... 3
 帆走指示書..... 4～8
 信号一覧表..... 9
 関係機関連絡先..... 9
 出場チーム成績一覧表..... 10～11

大会役員

大会委員長	浜松医科大学教授	神田洋三
大会副委員長	浜松医科大学教授	吉見輝也
	浜松医科大学非常勤講師	白川彰
参与	浜松市ヨット協会会長	市川重男

競技役員

レース委員長	高橋幸吉
競技委員長	中島浩二郎
審判委員長	河村泰
運営委員長	鷲津輝幸

競技援助団体

浜松市ヨット協会
静岡大学体育会ヨット部
興誠高校ヨット部
ビーチスマリーナ
ジョナサン

式 次 会 第

開 会 式

8月24日(水) 8時30分

ヤマハマリーナ浜名湖

1. 開式通告
2. 開会宣言
3. あいさつ
4. 閉式通告

閉 会 式

8月26日(金) 16時

ヤマハマリーナ浜名湖

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. 役員講評
5. あいさつ
6. 閉会宣言
7. 閉式通告

会 議 日 程

会 議 名	日 時	会 場
主将会議(1回目)	8月23日(火) 19時30分	奥浜名湖ホテル
”(2回目)	8月25日(木) 19時30分	”

競 技 日 程

月日(曜)	時 間	内 容 (場 所)
8月23日 (火)	10:00～17:00	練習(ヤマハマリーナ浜名湖及び浜名湖)
	19:30～	第1回主将会議(奥浜名湖ホテル)
8月24日 (水)	8:30	開会式(ヤマハマリーナ浜名湖)
	10:30	470級1回戦
	10:40	S級1回戦
	12:30	470級2回戦
	12:40	S級2回戦
	19:00～	レセプション(奥浜名湖ホテル)
8月25日 (木)	10:30	470級3回戦
	10:40	S級3回戦
	12:30	470級4回戦
	12:40	S級4回戦
	19:30～	第2回主将会議(奥浜名湖ホテル)
8月26日 (金)	10:00	470級5回戦
	10:10	S級5回戦
	12:00	470級6回戦
	12:10	S級6回戦
	16:00	閉会式(ヤマハマリーナ浜名湖)

帆 走 指 示 書

1. 適 用 規 則

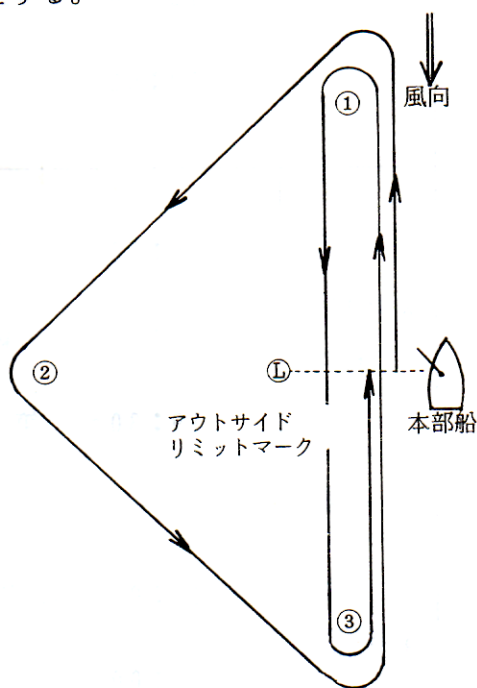
1981~84年国際ヨット競技規則及び日本ヨット協会付則並びに帆走指示書、実施要項及び当該クラス規則による。

2. レースの日程及び回数

- (1) 日程は別掲日程表による。
- (2) 各種目ごとに6レースを行なう。ただし天候その他の事情により全部の回戦を終えることができなくても、それぞれ成立した1回以上のレースにより順位を決定する。

3. マーク及びコース

- (1) マークは本部船、及びオレンジ色のブイとする。
- (2) マークは風向に従い、右図のように設置する。
- (3) コースはS-1-2-3-1-3-Fの順に、各マークはすべて反時計まわりで廻航する。
- (4) レース中、風向の変化がはなはだしい場合は、レースに支障がない範囲でマークを移動することがある。この場合、本部船にC旗を掲げ、警笛長音2声を発する。
- (5) マークに事故あるときは、M旗を掲げた運営艇を当該マークの原位置付近に設置し、本部船に~~C~~旗を掲げ、警笛長音2声を発する。



4. スタートライン及びフィニッシングライン

- (1) スタートラインは本部船のマストとアウトサイドリミットマークを結ぶ線とし、範囲は本部船とアウトサイドリミットの間とする。
- (2) フィニッシングラインは、スタートラインと同様とする。

5. スタート信号

- (1) 予告信号……スタート10分前に、クラス旗を本部船に展開し、号砲1発を発する。
- (2) 準備信号……スタート5分前に、P旗を本部船に展開し、号砲1発を発する。
- (3) スタート信号……クラス旗及びP旗を降下し、号砲1発を発する。
- (4) クラス旗 470級……470旗 スナイプ級……F旗

6. スタート時間制限

各レースとも、スタート信号後30分以内にスタートしなかったヨットはDNSとみなす。

7. リコール

- (1) リコール信号は、本部船において下記のとおり行う。

リコールの種類	音声	信号旗	備考
リコール	長音 1声	Z旗展開	リコール艇がある場合、すべてのリコール艇が解消すればZ旗は降下されるが、もしリコールを解消されないヨットがあってもZ旗はスタート時刻5分後には降下される。
ゼネラルリコール	長音 2声	第1代表旗 展開 (クラス旗 展開のまま)	次のスタートは、もとのスタートの10分後とする。470級がゼネラルリコールの場合、スナイプ級は自動的に10分おくれのスタートとなる。 (スナイプ級のAP旗は掲げない)

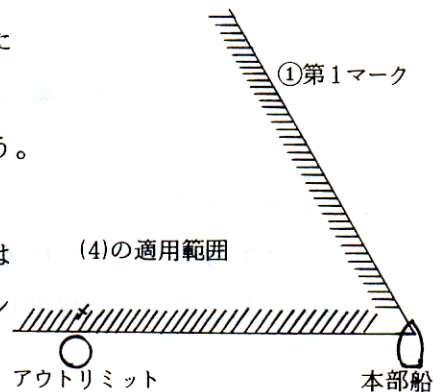
- (2) リコールを解消せずに第1マークを廻航したヨットは失格とする。

- (3) 第1代表旗の降下は、準備信号展開時に行う。

- (4) ゼネラルリコール後のスタートにおいては、スタート信号前の1分間に、艇体、乗員または

(4)の適用範囲

艦装の一部が右図に示す範囲(スタートライン



とその延長線および本部船のマストと第1マークを結ぶ線との内側)にはいったヨットは失格とし、当該スタート1分前に、長音1声を発する。

8. コースの短縮

- (1) 本部船に短縮するクラスのクラス旗およびS旗を展開したときは、そのクラスのコース短縮を意味する。このとき、長音2声を発する。この場合は先頭艇が次に廻航しようとするマークを廻航しフィニッシュするものとする。
- (2) フィニッシュの方法は、最終マークの方向から行うものとする。

9. スタートの延期

スタート時刻を延期する場合には、規則4.1 AP旗(a)の通りとし、本部船にてAP旗の展開時には長音2声を発し、AP旗の降下時には号砲1発を発する。

10. タイムリミット

スタート時刻から90分とする。

11. 先頭艇のフィニッシュおよびレース終了

先頭艇がフィニッシュしたとき、およびレースが終了したときは各々号砲1発を発する。

12. レースの中止

本部船にN旗を掲揚し、長音3声を発する。

13. 申告

申告書その他の書類はすべて艇長が署名し、陸上本部に提出すること。

- (1) 出走申告書はレーススタート90分前から30分前までに提出すること。
- (2) 帰着申告書はレース終了後90分以内に提出すること。
- (3) 各申告の内容等に関し不備な点があった場合は、レース委員会の裁定により処理する。

14. 抗議

- (1) 抗議をしようとする艇は、規則68.2(a)を満たしていることは当然必要であるが、フィニッシュ時に本部船に抗議旗の確認を受けなければならない。
- (2) 抗議書は各レースの終了後90分以内に提出しなければならない。ただし、レース委員会において抗議締切り時刻の延期の必要を認めた場合には、その決められた時間内に提出しなければならない。

(3) 抗議手数料は2,000円とし、抗議が成立した場合は、これを返却する。

(4) 抗議の審問には代理人の出席は認めない。

(5) 抗議の審問はその日の最終レース終了後、可及的速やかにプロテスト委員会で行うものとする。

(6) 規則70.2(d)による報告の受け付けは、各レース終了後90分以内とする。

15. リタイア

リタイアしようとするヨットは、できる限り速やかにレース海面から離れるとともに、リタイアの意志を本部船または運営艇にできるだけ伝えること。

16. ライフジャケット

乗員は離岸から着岸まで、ライフジャケットを着用しなければならない。

17. 失格に代わる罰則

(1) 競技規則第IV章の規則違反を自ら認めたヨットに対しては、罰則として競技規則付則3の2.パーセンテージ、2.1を適用する。

(2) 自ら第IV章の規則違反を認めたヨットは、最初の適当な機会に、国際信号のI旗を示し、フィニッシュするまでこれを掲げておくと共に、レース委員会に違反を報告しなければならない。

(3) I旗の大きさは、日本ヨット協会付則3に規定する抗議旗の大きさとする。

(4) 衝突の結果、いずれかのヨットに重大な損傷をきたした場合には、違反したヨットは失格とする。

また、重大な損傷の有無に関係なく、重大な規則違反を理由として、違反したヨットを失格とすることがある。

18. 得点計算及び順位決定方法

(1) 各ヨットには次の得点が与えられる。

1位……0	2位……3	3位……5.7	4位……8
5位……10	6位……11.7	7位及びそれ以下……順位+6	

(a) リタイアと認められたヨット (RET) ……当該種目参加艇数+1

(b) 失格したヨット (DSQ) ……当該種目参加艇数+3

(c) スタートしなかったヨット (DNS) 及び上記(a), (b)以外の理由でフィニッシュしなかったヨット (DNF) ……リタイアしたヨットと同一の得点

- (d) 出走が認められなかったヨット(DNC) …失格したヨットと同一の得点
- (2) 6レース成立のときは1レースカット、5レース以下の時は全レースカウントする。
- (3) 2艇以上のヨットの合計得点と同点となった場合には、第1位の数の多いヨットを上位とする。この方法によってもタイをとく事が出来ない場合は、第2位の数の多いヨットを上位とする。この方法によっても、なお順位を定めることが出来ない場合は、最終回戦の上位のヨットを上位とする。

19. 艇の検査

- (1) レース委員会は、ヨットの搭載物品、ブラックバンド等につき検査を行うことがある。
- (2) レース中、アンカー、アンカーロープ、パドル、ウイスキーポール、スピンプールを失ったヨットは失格とする。

20. その他

競技規則、帆走指示書及びその他の事項について疑義が生じた場合、レース委員会がこれを裁定する。

信号一覧表

旗	号 砲	長 音	信 号 内 容
470	1		470級予告信号
F	1		スナイプ級予告信号
P	1		準備信号
Z		1	リコール艇あり
C		2	マーク移動中
第1代表旗		2	ゼネラルリコール
S		2	コース短縮
N		3声以上	レース中止
AP		2	スタート延期
M.L		2	マーク代替
		1	(分間10-10適用時)

関係機関連絡先

大会本部 ヤマハマリーナ浜名湖 05357-8-0711
 (但し, 8月24日~26日)

大会本部宿舎 浜松医科大合宿所 05352-6-7541
 (但し, 8月15日~26日, 除土・日曜)

湖西総合病院 05357-6-1231

出場手一△成績一覽表

大学名	リ 番 コ ー ル 号	級	1 回 戦			2 回 戦			3 回 戦				
			選 手 名	着順	得点 計	選 手 名	着順	得点 計	選 手 名	着順	得点 計		
宮崎医科大学	1	S											
		470											
産業医科大学	2	S											
		470											
徳島大学	3	S											
		470											
広島大学	4	S											
		470											
川崎医科大学	5	S											
		470											
岡山大学	6	S											
		470											
鳥取大学	7	S											
		470											
神戸大学	8	S											
		470											
兵庫医科大学	9	S											
		470											
和歌山県立医科大学	10	S											
		470											
関西医科大学	11	S											
		470											
大阪医科大学	12	S											
		470											
奈良県立医科大学	13	S											
		470											
京都府立医科大学	14	S											
		470											
京都大学	15	S											
		470											
滋賀医科大学	16	S											
		470											
愛知医科大学	17	S											
		470											
金沢医科大学	18	S											
		470											
富山医科薬科大学	19	S											
		470											
浜松医科大学	20	S											
		470											

MEMO

A large rectangular area with a double-line border and horizontal dotted lines, intended for writing a memo. The area is mostly blank, with some faint, illegible markings visible in the upper half.